

▼サイラムザ点滴静注液 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 ラムシルマブ (遺伝子組換え) ramucirumab (genetical recombination) 【分類】 抗悪性腫瘍剤 [ヒト型抗 VEGFR-2 モノクローナル抗体]

【単位】 ▼100mg/V [10mL], ▼500mg/V [50mL]

【常用量】 1回 8mg/kg, 2週間に1回 ■高血圧又は蛋白尿があらわれた場合の減量基準があり添付文書参照

【用法】 60分かけて点滴静注 ■調製には生食を使用

【透析患者への投与方法】 設定されていない (1) がおそらく減量の必要はない (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 設定されていない (1) がおそらく減量の必要はない (5)

【特徴】 VEGFR-2a に対するヒト型抗 VEGFR-2 モノクローナル抗体で、治癒切除不能な進行・再発の胃癌に適用される抗悪性腫瘍薬。

【主な副作用・毒性】 動脈血栓塞症, 静脈血栓塞症, Infusion reaction, 消化管穿孔, 出血, 創傷治癒遅延, うっ血性心不全, 白血球減少, 血小板減少, 消化器症状, 高血圧, 頭痛, 蛋白尿, 粘膜の炎症など多数。

【安全性に関する情報】 MTD は高血圧, DVT (Spratlin JL, et al: J Clin Oncol 28: 780-7, 2010 PMID:20048182)

【代謝】 資料なし (1) イムノグロブリンの代謝過程をたどると推測 (5)

【排泄】 資料なし (1)

【CL】 0.0150L/hr [iv] (1) 0.017L/hr [iv] (Ueda S, et al: Oncologist 20: 493-4, 2015 PMID: 25888272)

【t1/2】 183~218hr (1) 138~225hr (Ueda S, et al: Oncologist 20: 493-4, 2015 PMID: 25888272)

【蛋白結合率】 資料なし (1)

【Vd】 3.29L/man [iv] (1) 3L/man (Ueda S, et al: Oncologist 20: 493-4, 2015 PMID: 25888272)

【MW】 約 147,000

【透析性】 資料なし (1) 除去されないと思われる (5)

【O/W 係数】 該当しない (1)

【肝障害患者への投与方法】 重度の肝障害患者では肝機能が悪化することがあり慎重投与 (1)

【妊婦・授乳婦への投薬】 投与を避ける (1)

【主な臨床報告】 固形がんに対する第1相試験 (Chiorean EG, et al: Ann Oncol 26: 1230-7, 2015 PMID: 25787923) 直腸がんへの FOLFIRI への追加治療 (Yoshino T, et al: Anticancer Res 35: 4003-7, 2015 PMID: 26124348)

【更新日】 20180403

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。